

自己点検・評価結果（点検・評価シート）

大和市学校教育基本計画

基本目標 1 夢に向かって輝く子ども

点検・評価の対象となる重点施策の一覧

- 1 個性や可能性を伸ばす教育を進めます。
- 2 キャリア教育を推進します。
- 3 学校教育相談の充実を図ります。
- 4 特別支援教育を推進します。

1 個性や可能性を伸ばす教育を進めます。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 朝鮮人学校保護者会支援事業

- ・大和市在住朝鮮人学校在学児童生徒保護者会に対して補助金を交付しました。
対象児童生徒数：26人

(2) 奨学基金管理事務

- ・奨学金給付事業のため基金を適正に管理・執行しました。

(3) 奨学金給付事業

奨学生に奨学金（月額7千円）を給付しました。

< 奨学生決定件数 >

- ・平成19年度 25件
- ・平成18年度 22件
- ・平成17年度 22件
- ・平成16年度 3件

< 決算額の内訳 >

- ・奨学生給付金 6,048千円
- ・事務費 9千円

(4) 小学校就学援助事業

受給申請書を審査し、認定者に給食費等を援助しました。

< 学用品費等経費 >

- ・給食費 3,235人【3,426人】
- ・学用品費 3,273人【3,444人】
- ・新入学学用品費 483人【542人】
- ・修学旅行費 539人【503人】

- ・宿泊を伴う校外活動費 496人【541人】
- <医療費等経費>
 - ・医療費 1,027人【1,087人】
 - ・めがね購入費（検眼料含む） 407人【412人】
- <決算額の内訳>
 - ・学用品費等経費 193,864千円
 - ・医療費等経費 8,877千円
 - ・事務費 588千円

(5) 中学校就学援助事業

受給申請書を審査し、認定者に給食費等を援助しました。

- <学用品費等経費>
 - ・給食費 1,385人【1,383人】
 - ・学用品費 1,417人【1,387人】
 - ・新入学生徒学用品費 456人【455人】
 - ・修学旅行費 455人【421人】
 - ・宿泊を伴う校外活動費 433人【446人】
 - ・通学費 51人【47人】
 - ・体育実技用費 26人【28人】
- <医療費等経費>
 - ・医療費 138人【150人】
 - ・めがね購入費（検眼料含む） 420人【409人】
- <決算額の内訳>
 - ・学用品費等経費 132,919千円
 - ・医療費等経費 4,950千円
 - ・事務費 261千円

(6) 外国人児童生徒教育推進事業

小中学校に日本語指導員及び外国人児童生徒教育相談員を派遣しました。

- <指導員及び相談員人数>
 - ・日本語指導員：6人 派遣校 18校【18校】
 - ・外国人児童生徒教育相談員：19人 派遣校 20校【19校】
- 7カ国語 [スペイン語 ラオス語 カンボジア語 ベトナム語
ポルトガル語 中国語 ハンゲル語]

「楽しい学校」改訂版編集委員を選定し、学習会や構成作業を行いました。

- <決算額の内訳>
 - ・外国人児童生徒教育相談員報酬 3,753千円
 - ・日本語指導員講師謝礼 2,490千円
 - ・その他 2,987千円

(7) 小学校行事等支援事業

- ・野外キャンプを実施した全小学校へ、補助金を交付しました。
- ・芸術鑑賞学習などの文化的行事を行った全小学校へ、補助金を交付しました。

- <決算額の内訳>
 - ・文化的行事助成事業補助金 2,850千円
 - ・健康増進特別事業補助金 1,064千円

(8) 中学校行事等支援事業

- ・野外キャンプを実施した全中学校へ、補助金を交付しました。
- ・芸術鑑賞学習などの文化的行事を行った全中学校へ、補助金を交付しました。
- ・神奈川県公立中学校文化連盟大和支部芸術祭実行委員会へ、補助金を交付しました。

< 決算額の内訳 >

- ・ 文化的行事助成事業補助金 2,070千円
- ・ 健康増進特別事業補助金 1,017千円
- ・ 県公立中学校文化連盟大和支部芸術祭補助金 498千円

(9) 中学校部活動支援事業

- ・ 部活動振興のため、全中学校へ補助金を交付しました。
- ・ 各中学校が専門知識や技能を有する指導者に部員の指導を依頼し、実施にあたった外部指導者への謝礼金を援助しました。
- ・ 全国大会等への出場にあたって旅費を援助しました。
- ・ 運動部の大会を支援するため、中学校体育連盟へ補助金を交付しました。

< 決算額の内訳 >

- ・ 中学校部活動補助金 5,500千円
- ・ 部活動指導者謝礼 4,158千円
- ・ 部活動関東全国大会派遣費負担金 2,058千円
- ・ 中学校体育連盟補助金 1,257千円

(10) 小学校院内学級運営事業

- ・ 大和市立病院に入院した児童を大和小学校へ転入させ、病院内で教員による教育を行いました。
- ・ 病院内での教育活動に必要な備品を整備しました。

< 決算額の内訳 >

- ・ 院内学級用教材備品 37千円

(11) 中学校院内学級運営事業

- ・ 大和市立病院に入院した生徒を大和中学校へ転入させ、病院内で教員による教育を行いました。
- ・ 病院内での教育活動に必要な備品を整備しました。

< 決算額の内訳 >

- ・ 院内学級用教材備品 42千円

(12) 小学校児童活動等運営事業

児童の病気・けがの見舞や、保護者・地域等との連携を推進するための学校交際費と児童の各種行事への参加派遣費を配分しました。

(13) 中学校生徒活動等運営事業

生徒の病気・けがの見舞や、保護者・地域等との連携を推進するための学校交際費を配分しました。各種行事参加生徒の派遣用（交通費）を補助しました。

(14) 私立幼稚園運営支援事業

- ・ 私立幼稚園設置者及び大和私立幼稚園協会に対して補助金を交付しました。

研修実施幼稚園数：17園

(15) 私立幼稚園障害児就園支援事業

心身に障害のある幼児との統合保育を行う私立幼稚園設置者に補助金を交付しました。

< 事業内容 >

- ・ 対象園児数 47人【 42人】
- ・ 園児1人あたり給付月額 9,000円【9,000円】

< 決算額の内訳 >

- ・ 幼稚園障害児教育費補助金 5,076千円

(16) 私立幼稚園就園支援事業

市内在住の幼稚園児の保護者に保育料等の減免措置を行った私立幼稚園設置者に対して、園児数・市民税額に応じた補助金を交付しました。

< 事業内容 >

- ・ 世帯の住民税額に応じ、補助金を1～6ランクに区分し、支給しました。

対象幼稚園数 市内17園【市内17園】

市外51園【市外46園】

市内在住園児（満3歳・3～5歳児） 4,027人【3,959人】

< 決算額の内訳 >

- ・ 幼稚園就園奨励費補助金 218,773千円

- ・ 事務費 317千円

(17) 神奈川県私立幼稚園教育研究支援事業

- ・ 補助金交付はありませんでした。

教育委員会の自己点検・評価

- ・ 達成度

特に重点施策の推進になった点

保護者の経済的な負担の軽減を図ることにより、等しくその能力に応じた教育を受けることができました。

外国人の児童生徒が小中学校で円滑に学習・生活できるように、日本語指導員を各学校に派遣しています。このことにより本人に対する学習支援や保護者の学校生活に対する理解が進んでいます。

未達成の点

就学の援助については、学校教育法に基づくもので、未達成の点はありませんが、外国人児童生徒のための講師派遣や指導員の派遣数については、学校との調整の中で、目標を下回っています。

- ・ 課題

就学の援助は、個性や可能性を伸ばす教育の推進のため、今後も継続し、推進していきます。

日本語指導員への学校のニーズは年ごとに増加しています。現在、財団法人国際化協会へ派遣を要請し対応していますが、今後一層、協力を進めていきます。

外国籍の市民等が多いという大和市の特色を、カリキュラムとしての「小学校外国語活動」の年間指導計画に生かせるようにすることが今後の課題です。

2 キャリア教育を推進します。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 教育に関する調査研究・研修事業

・研修講座を行いました。

研修講座 6 講座 17 回 【16 回】

・教育に関する調査研究を行いました。

調査研究部会 3 部会 31 回 【36 回】

・学校教材として副読本の発刊を行います。

小学校社会科副読本「やまと」 2,450 冊 【2,500 冊】

中学校社会科副読本「大和」 2,150 冊 【2,200 冊】

・教育資料・史料を収集・整理・保管し、閲覧及び貸し出しを行いました。

累積登録冊数 11,051 冊 【10,899 冊】

貸出実績 9 冊

・特色ある教育活動や教育情報について広報しました。

まなびやまと 151,000 部 【75,500 部】

ビジュアル版 大和の教育 75,500 部 【75,500 部】

< 決算額の内訳 >

・副読本印刷製本費 4,859 千円

・その他 4,042 千円

(2) 小学校地域教育力活用推進事業

・地域の声を生かしたよりよい学校運営を行うために、学校長に適切な助言を行う学校評議員を委嘱しました。

・各学校における地域教育力を活用した教育活動（知識や経験を有する人の指導協力やボランティアによる教育活動への参加者招致等）を支援しました。

・夏休みに小学生が自分で学びたい内容の教材を持参し、地域のボランティアがその指導を行う「夏休み子どもまなびや事業」を 6 日間開催しました。

開催場所（コミセン） 20ヶ所 【20ヶ所】

参加人数 939 人 【852 人】

< 決算額の内訳 >

・地域教育力活用推進事業講師謝礼 760 千円

・勤労生産学習講師謝礼 285 千円

・学校評議員謝礼 210 千円

・その他 148 千円

(3) 中学校地域教育力活用推進事業

・地域の声を生かしたよりよい学校運営を行うために、学校長に適切な助言を行う学校評議員を委嘱しました。

・各学校における地域教育力を活用した創意ある教育活動（知識や経験を有する人の指導協力やボランティアによる教育活動への参加者招致等）を支援しました。

< 決算額の内訳 >

・地域教育力活用推進事業講師謝礼 630 千円

・学校評議員謝礼 90 千円

教育委員会の自己点検・評価

- ・ 達成度

特に重点施策の推進になった点

キャリア教育に対する教職員の理解を深め、授業実践を支援するために、調査研究を行い、教師用の「キャリア教育ガイドブック」を作成して配布しました。

学校においては、ゲストティーチャーによる授業や地域の協力を得て行う体験活動を通して、職業観・勤労観の育成が図られつつあります。特に、中学校における職場体験は、職業に対する見方や考え方を深め、社会への関心と集団における責任感の向上を図るよい機会となっています。

未達成の点

未達成の点はありません。

- ・ 課題

小学校では、各学年の発達段階に応じた系統的な活動計画になるよう、キャリア教育のあり方や教育課程への位置づけを検討することが課題となっています。今後は、調査研究部会で作成した「キャリア教育ガイドブック」を活用しつつ、小・中学校の連続性も踏まえて、学校の教育活動全体を通じた組織的・系統的なキャリア教育の充実をめざしていきます。

3 学校教育相談の充実を図ります。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 不登校児童生徒援助事業

不登校支援・教室への通室支援として、不登校を考える保護者会・特別相談員による個別面談・まほろばフレンドの派遣等を実施しました。

- ・不登校を考える保護者会参加者数 17人【27人】
- ・特別相談員による個別面談者数 10人【10人】
- ・まほろばフレンドの派遣回数 34回【34回】

学校復帰を目指して、カウンセリング、学習支援、人間関係づくり等の援助を行いました。

- ・教室への通室児童生徒数 30人【28人】
- ・通室児童生徒のうち学校復帰した人数 26人【15人】

< 決算額の内訳 >

- ・指導員等の報酬 7,620千円
- ・その他 828千円

(2) 学校教育相談員活用事務

< 相談者別内訳(中学校) >

- ・生徒 1,946回【1,325回】
- ・教職員 1,443回【1,018回】
- ・保護者 244回【168回】
- ・その他 33回【53回】

< 相談内容別内訳(中学校) >

- ・情報交換 1,278回【841回】
- ・不登校 916回【734回】
- ・友人関係 285回【251回】
- ・その他 1,187回【738回】

< 相談者別内訳(小学校) >

- ・児童 4,145回【2,347回】
- ・教職員 1,762回【1,789回】
- ・保護者 638回【520回】
- ・その他 81回【52回】

< 相談内容別内訳(小学校) >

- ・情報交換 1,708回【1,543回】
- ・友人関係 835回【812回】
- ・不登校 347回【459回】
- ・その他 3,736回【1,894回】

< 決算額の内訳 >

- ・学校教育相談員謝礼 10,110千円
- ・その他 441千円

教育委員会の自己点検・評価

- ・ 達成度

特に重点施策の推進になった点

児童や生徒及び保護者、教職員からの様々な相談に対して、的確に対応しています。特に不登校生徒については、カウンセリング・学習指導・人間関係づくりの援助などを実施して、在籍校への復帰に努めました。

通室児童生徒の学校へ復帰する割合が増加していることから、不登校児童生徒援助事業が一定の効果を上げているものと考えます。

未達成の点

未達成の点はありません。

- ・ 課題

不登校の解消は、保護者の理解と協力が不可欠です。今後も、保護者の理解や協力を引き出していく相談体制の充実を図るとともに、不登校の原因が複雑化し、多岐にわたっているため、福祉・医療・心理関係機関との連携の強化と、学校内のチームによる教育相談体制の整備を行っていきます。

児童生徒、保護者そして教員を対象とする学校教育相談員による相談件数は、増加していますので、相談体制の充実を図っていくことが課題です。

4 特別支援教育を推進します。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 小学校特別支援教育就学奨励事業

保護者からの申請を審査し、所得基準に応じて給食費等を援助しました。

< 内訳 >

・給食費	84人【79人】
・学用品費	84人【80人】
・新入学児童生徒学用品費	17人【11人】
・修学旅行費	11人【11人】
・宿泊を伴う校外活動費	17人【11人】
・通学費	54人【55人】

< 決算額の内訳 >

・学用品費等経費	2,711千円
----------	---------

(2) 中学校特別支援教育就学奨励事業

保護者からの申請を審査し、所得基準に応じて給食費等を援助しました。

< 内訳 >

・給食費	23人【22人】
・学用品費	23人【22人】
・新入学児童生徒学用品費	8人【4人】
・修学旅行費	11人【8人】
・宿泊を伴う校外活動費	4人【5人】
・通学費	6人【7人】

< 決算額の内訳 >

・学用品費等経費	1,194千円
----------	---------

(3) 障害児教育研究事業

・特別支援教育担当教員で組織する大和市特別支援教育研究会に障害児教育研究を委託しました。

< 事業内容 >

- ・宿泊移動教室の実施
- ・巡回作品展などの実施

< 決算額の内訳 >

・障害児教育推進事業委託料	1,886千円
・特別支援教育研究会等負担金	113千円

(4) 障害児就学相談事業

・相談窓口を開設し、障害児教育担当職員及び特別教育相談員が保護者からの相談を受けました。

・関係機関と連携しながら、処遇委員会の意見を踏まえて保護者に助言を行い、適正な就学につなげます。

相談件数 156件【146件】

(5) ことばの教室運営事業

・小学校2校(草柳小・渋谷小)に、ことばの教室を開設しました。

- ・在籍する小学校で通常の学習を続けながら、障害の程度によりことばの教室に通級させ、障害を改善するための指導を行いました。

< 決算額の内訳 >

- ・オージオメーター点検校正料 225千円
- ・教室用教材備品 97千円

(6) 特別支援教育推進事業

学校の要請を受け、特別支援教育ヘルパー等を派遣しました。

< 事業内容 >

- ・特別支援教育ヘルパー 派遣校 21校【21校】
特別支援学級に在籍する児童生徒の介助等に対応しました。
- ・特別支援教育スクールアシスタント 派遣校 28校【20校】
教員とともに、通常学級に在籍する学習障害等のある児童を指導しました。
- ・特別支援教育巡回相談チーム 派遣校 26校
保護者及び職員を支援しました。

< 決算額の内訳 >

- ・特別支援教育ヘルパー賃金 28,719千円
- ・特別支援教育スクールアシスタント賃金 16,425千円
- ・その他 671千円

(7) 小学校障害児教育教材備品等整備事業

- ・教材教具研究協議会を開催し、適正な教材の検討を行い、大和市標準教材品目表の見直しをしました。
- ・各小学校からの要望を受け、教育効果を高めるために必要な障害児教育用の備品等を大和市標準教材品目表に基づき整備しました。

< 決算額の内訳 >

- ・特別支援学級用教材備品 2,092千円

(8) 中学校障害児教育教材備品等整備事業

- ・教材教具研究協議会を開催し、適正な教材の検討を行い、大和市標準教材品目表の見直しを行いました。
- ・各中学校からの要望を受け、教育効果を高めるために必要な障害児教育用の備品等を大和市標準教材品目表に基づき整備しました。

< 決算額の内訳 >

- ・特別支援学級用教材備品 870千円

教育委員会の自己点検・評価

- ・ 達成度

特に重点施策の推進になった点

特別支援学級に通級するために保護者に経済援助を行い、負担軽減となる一定の成果を上げることができました。

保護者からの相談体制をつくり、障害のある子どもの就学アドバイスを行いました。また、小中学校の特別支援学級に46名の特別支援教育ヘルパーを、通常学級を対象に各小中学校に1名ずつ特別支援教育スクールアシスタントを派遣し、各学校の教育的ニーズに応じた支援ができるようにしました。

さらに、特別支援学級在籍の児童生徒同士の交流、担当教員の情報交換や研究により、特別支援教育の充実を図ることができました。

未達成の点

未達成の点はありません。

- ・ 課題

近年の就学相談件数の増加に対応し、きめ細やかな相談体制を確保するため、特別教育相談員の増員が必要であり、今後、重度の障害のある児童生徒の特別支援学級への入級も増えてくることも予想されることから、ヘルパー派遣事業の充実も必要です。

学校教育におけるインクルージョンを今後も進めるためにも、特別支援学級における交流及び共同学習を進めていきます。

今後とも、特別支援学級を含む各小中学校の特別支援教育についての校内支援体制のさらなる充実に努めます。

インクルージョン ... 障害のある子どもと、健常の子どもが区別なく共に学ぶ機会をつくっていくこと。



点検・評価の対象となる重点施策の一覧

- 1 多様な指導方法・指導形態を工夫します。
- 2 今日的な教育課題についての研究を進めます。
- 3 環境教育・情報教育の充実を図り、時代に対応した生きる力をはぐくみます。

1 多様な指導方法・指導形態を工夫します。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 小学校教科書等整備事業

・「大和市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則」の規定により、各学校から届け出られた準教科書を購入し、配付規準により児童に配付しました。

< 決算額の内訳 >

・児童用準教科書 10,675千円

(2) 小学校教材等整備事業

・教材教具研究協議会を開催し、適正な教材の検討を行い、大和市標準教材品目表の見直しをしました。

・各小学校からの教材備品の補修要望に対し、必要度合いを精査しながら対応しました。

・各小学校からの要望を受け、文部科学省が定める教材機能別分類表及び大和市標準教材品目表に基づき、計画的に教材備品の整備を行いました。

< 決算額の内訳 >

・教材備品購入費 18,771千円

・教材備品補修費 2,338千円

・その他 330千円

(3) 中学校教科書等整備事業

・「大和市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則」の規定により、各学校から届け出られた準教科書を購入し、配付規準により生徒に配付しました。

・社会科教材の「大和市の地図」を1年生全生徒に配付しました。

< 決算額の内訳 >

・生徒用準教科書 6,137千円

・社会科白地図 394千円

(4) 中学校教材等整備事業

・教材教具研究協議会を開催し、適正な教材の検討を行い、大和市標準教材品目表の見直しをしました。

・各中学校からの教材備品の補修要望に対し、必要度合いを精査しながら対応しました。

・各中学校からの要望を受け、文部科学省が定める教材機能別分類表及び大和市標準教材品目表に基づき、計画的に教材備品の整備を行いました。

< 決算額の内訳 >

・教材備品購入費 12,764千円

- ・教材備品補修費 1,632千円
- ・その他 132千円

(5) 指導図書等整備事業

- ・教員に教科書、準教科書（体育・道徳・進路）及びその指導書を配付しました。
- ・各学校へ指導用の教材（消耗品・備品）を配付しました。

<決算額の内訳>

- ・指導用教材（消耗品） 4,846千円
- ・指導用教材（備品） 386千円

(6) 小学校非常勤講師派遣事務

- ・教職員が短期間（4日から2週間）の病気や介護、研修などで学校の授業に支障をきたす場合に、非常勤講師を任用し、必要な学校に派遣しました。

(7) 中学校非常勤講師派遣事務

- ・教職員が短期間（4日から2週間）の病気や介護、研修などで学校の授業に支障をきたす場合に、非常勤講師を任用し、必要な学校に派遣しました。

(8) 小学校少人数指導等非常勤講師配置事業

小学校生活の順調なスタートのため少人数指導等非常勤講師を5校に配置し、きめ細やかな指導を行いました。

<実績の内訳>

- ・南林間小学校 1年
- ・大和東小学校 2年
- ・中央林間小学校 2年
- ・柳橋小学校 3年
- ・福田小学校 3年

<決算額の内訳>

- ・少人数指導等非常勤講師賃金 6,261千円

(9) 中学校少人数指導等非常勤講師配置事業

中学校生活の順調なスタートのため少人数指導等非常勤講師を3校に配置し、きめ細やかな指導を行いました。

<実績の内訳>

- ・つきみ野中学校 1年
- ・引地台中学校 1年
- ・下福田中学校 1年

<決算額の内訳>

- ・少人数指導等非常勤講師賃金 4,803千円

教育委員会の自己点検・評価

- ・ 達成度

特に重点施策の推進になった点

非常勤講師の配置により、担任と非常勤講師が協力し、少人数指導や多様な指導方法の工夫と実践がなされ、小学校では低学年の児童が、中学校では新1年生が、順調な学校生活を送ることができるようなサポートができました。

未達成の点

配置したことによる未達成の点はありません。

- ・ 課題

小学校低学年及び中学校1年生における少人数指導の重要性は高く、また、学校からの配置要望も強く、今後もできるだけ配置校を広げていくことが課題です。

2 今日の教育課題についての研究を進めます。

3 環境教育・情報教育の充実を図り、時代に対応した生きる力をはぐくみます。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 理科センター運営事業

- ・理科・環境教育推進のため理科センターを開放しました。

開放日数 145日【145日】

- ・小中学校から廃液回収の希望をとり業者委託により回収・処理を行いました。

対象校数 28校【28校】

- ・理科教育機器の整備・貸し出しを行いました。

9種類(12件) 【10種類(14件)】

< 決算額の内訳 >

・廃液処理委託 191千円

・その他 96千円

(2) 教育ネットワーク運用管理事業

- ・教育ネットワーク保守を行いました。

- ・教育ネットワークの改修を行いました。

< 決算額の内訳 >

・保守委託料 18,207千円

・ネットワーク改修 12,187千円

(3) 英語教育推進事業

市内の全中学校へ英語指導助手を派遣しました。

- ・英語指導助手派遣回数 603回【609回】

市内の全小学校へ国際教育指導員を派遣しました。

- ・国際教育指導員派遣回数 287回【350回】

< 決算額の内訳 >

・英語指導助手報酬 12,816千円

・国際教育指導員謝礼 3,294千円

・その他 149千円

(4) 中学校パーソナルコンピュータ整備事業

光丘中学校校舎建替えに併せ、コンピュータ教室のコンピュータ等(平成11年度設置)を更新しました。(42台/校)

< 決算額の内訳 >

・パソコン等備品 11,025千円

・ソフト・机・椅子 4,627千円

(5) 教育用コンピュータ整備事業

- ・小中学校のコンピュータ教室等に設置した教育用コンピュータの保守管理を業者に委託しました。

- ・小中学校に教職員用のコンピュータをリースで設置しました。

- ・教職員向けUSBメモリーを購入しました。

< 決算額の内訳 >

- ・教育用コンピュータ保守委託 35,280千円
- ・USBメモリー購入費用 3,111千円
- ・教員用コンピュータリース料 2,858千円
- ・その他 2,504千円

(6) 情報教育推進事業

- ・情報教育に関する調査研究と研修を行いました。
 - 調査研究部会 11回【11回】
 - 研修講座 5種40回【36回】
- ・情報教育に関する実践研究成果として授業公開及び研究紀要を発刊しました。
 - 福田小学校
- ・情報教育計画策定のため、プロジェクト委員会を開催しました。3回【3回】
- ・情報教育に関する情報交換の場として、担当者会議を開催しました。4回【4回】

< 決算額の内訳 >

- ・研究委託 1,200千円
- ・その他 822千円

(7) 理科・環境教育に関する調査研究・研修事業

教職員及び市民を対象とした理科・環境教育に関する研修事業を行いました。

- ・森林の生態と自然保護に関する講演会
- ・水族館を活用した理科教育と磯の生物観察
- ・演示実験に関する研修

児童生徒を対象にした理科実験教室を開催しました。

- ・子ども科学教室 10回【11回】
- ・やまとおもしろ科学館 1回【1回】

小学校教材として副読本の発刊を行いました。

- ・小学校4年生向け副読本「大和の自然」 2,350部【2,300部】
- ・大和市環境学習ハンドブック 1,400部【1,100部】

< 決算額の内訳 >

- ・副読本印刷製本費 1,929千円
- ・その他 1,029千円

(8) 教育研究支援事業

各学校の校内研究組織等に各種の教育研究を委託しました。また、市内教職員の横断的研究組織（小中学校別）に補助金を交付しました。

< 委託内容 >

- ・教育研究委託 22件
- ・教育課題研究推進校委託 3件
- ・ふれあい教育実践研究委託 3件
- ・児童生徒指導強化対策委託 2件
- ・小中学校連携実践研究推進校委託 2件
- ・中学校進路指導推進事業委託 9件

< 決算額の内訳 >

- ・各種教育研究委託 7,358千円
- ・大和市小学校教育研究会補助金 405千円
- ・大和市中学校教育研究会補助金 372千円
- ・その他 289千円

教育委員会の自己点検・評価

・ 達成度

特に重点施策の推進になった点

理科・環境教育についての相談や支援を行い、授業の改善に役立てました。

情報教育推進の基盤となるコンピュータ教室の機器更新や教育ネットワークの再構築が終了し、ストレスなく授業活用できる環境が整いました。また、情報教育に関する研修や研究を通して、教職員の指導力向上を図りました。

児童生徒を対象とした理科実験教室では、参加者が増加し、科学技術への興味関心を広げることができました。

英語指導助手を各中学校に派遣し、生徒にネイティブな発音にふれさせることで、コミュニケーション能力のさらなる育成が図られました。

未達成の点

未達成の点はありません。

・ 課題

今後、児童生徒用コンピュータ機器の計画的な更新・整備とともに、教職員用のコンピュータ整備を進め、教職員1人1台体制をめざす必要があります。

児童生徒を対象とした理科実験教室の参加者増加に伴い、内容の更なる充実を図るとともに、円滑な運営ができるよう、他部署との連携・協力など、運営体制の工夫・改善を行います。

平成21年度から「小学校外国語活動」が導入されるにあたって、A.L.T.派遣時間の増加、A.L.T.と担任との打合せ時間の確保、年間計画の作成、中核教員の育成、全教員の研修実施などに努めます。

A.L.T. ... 外国語活動指導助手。小学校における、外国語の実践的コミュニケーション能力の育成や外国の文化に親しむ活動を支援するために派遣される。



点検・評価の対象となる重点施策の一覧

- 1 自然や人々とのふれあいを通して豊かな感性、社会性、人間性をはぐくみます。
- 2 「大和市子ども読書活動推進計画」に基づき、文字活字文化に親しむ態度を養います。
- 3 自分の願いや思いを話し、他の人の考えや願いを受けとめる仲間づくりの育成に努めます。

1 自然や人々とのふれあいを通して豊かな感性、社会性、人間性をはぐくみます。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 小学校行事等支援事業（再掲）

- ・野外キャンプを実施した全小学校へ、補助金を交付しました。
- ・芸術鑑賞学習などの文化的行事を行った全小学校へ、補助金を交付しました。

< 決算額の内訳 >

- ・文化的行事助成事業補助金 2,850千円
- ・健康増進特別事業補助金 1,064千円

(2) 中学校行事等支援事業（再掲）

- ・野外キャンプを実施した全中学校へ、補助金を交付しました。
- ・芸術鑑賞学習などの文化的行事を行った全中学校へ、補助金を交付しました。
- ・神奈川県公立中学校文化連盟大和支部芸術祭実行委員会へ、補助金を交付しました。

< 決算額の内訳 >

- ・文化的行事助成事業補助金 2,070千円
- ・健康増進特別事業補助金 1,017千円
- ・県公立中学校文化連盟大和支部芸術祭補助金 498千円

(3) 中学校移動水泳授業実施事業

- ・5～10月の間に、合計8回の水泳授業を引地台温水プールで学校ごとに実施しました。
- ・移動手段として、延べ20台の貸切バスを用意しました。
- ・水泳指導の補助として、水泳指導員を延べ30人配置しました。

< 決算額の主な内訳 >

- ・バス借上げ料 1,035千円
- ・水泳指導員派遣委託料 189千円

(4) 修学旅行等への看護師派遣事業

- ・市内全小中学校の修学旅行に看護師を同行させました。
処置件数 小学校（19校）153件 中学校（9校）95件
- ・特別支援教育研究会宿泊移動教室に看護師を同行させました。
処置件数 宿泊移動教室（7グループ）22件
- ・残った養護教諭を学校内の業務に専念させることができました。
- ・看護師の派遣は、民間の派遣会社に委託しました。

< 決算額の内訳 >

・看護師派遣委託料 2,275千円

(5) 就学時健康診断事業

10月から11月に市内全小学校を会場に、内科・眼科・耳鼻科・歯科の学校嘱託医による健康診断と面談を実施しました。

<実績の内訳>

就学時健康診断実施者数・・・1,970人

<決算額の主な内訳>

・検診委託料 2,030千円

・その他 768千円

(6) 児童健康管理事業

・学校医による内科検診、歯科検診、耳鼻科検診、眼科検診を実施しました。

・尿検査（腎疾患・糖尿病）心臓病検診、寄生虫卵検査を実施しました。

また、必要に応じ精密検査を行い、専門医師により組織された判定委員会で治療勧告等を行いました。

<実績の内訳>

尿検査（小学校全児童対象） 受検者...12,324人【12,176人】

心臓病検査（小学校1年生対象）受検者... 2,049人【1,932人】

寄生虫検査（小学校全児童対象）受検者...12,196人【12,187人】

・保健室における健康診断、健康相談、緊急措置等に必要な備品の新規購入及び更新を行いました。

<決算額の主な内訳>

・学校医等報酬 22,180千円

・その他 12,694千円

(7) 生徒健康管理事業

・学校医により内科検診、歯科検診、耳鼻科検診、眼科検診を実施しました。

・尿検査（腎疾患・糖尿病）心臓病検診を実施しました。

また、必要に応じ精密検査を行い、専門医により組織された判定委員会で治療 勧告等を行いました。

<実績の内訳>

尿検査（中学校全生徒対象） 受検者数...5,401人【5,148人】

心臓病検査（中学校1年生対象）受検者数...1,890人【1,776人】

・保健室における健康診断、健康相談、緊急措置等に必要な備品の新規購入及び更新を行いました。

<決算額の主な内訳>

・学校医等報酬 10,671千円

・その他 7,153千円

(8) 学校災害補償事業

平成20年2月から、一部の学校を除き、オンラインシステムによる請求を始めました。

・日本スポーツ振興センター申請件数：1,312件

(9) 教職員健康診断事務

・8月に3日間の日程で健康診断を実施しました。

・新任の養護教諭のB型肝炎の予防接種を行いました。

<実績の内訳>

教職員健康診断受診者数・・・458人

B型肝炎の予防接種受診者数・・・ 4人

<決算額の主な内訳>

- ・教職員健康診断委託料 3,288千円
- ・その他 69千円

教育委員会の自己点検・評価

- ・ 達成度
 - 特に重点施策の推進になった点
 - 各学校が実施する野外キャンプ及び芸術鑑賞学習を支援するため、全小中学校へ補助金を交付し、教育活動の中で心豊かな人間性を育む機会の提供を行いました。
 - また、学校にプールが設置されていない中学校の生徒を対象に水泳授業を受けられるように、引地台温水プールで移動水泳授業を実施し、生涯スポーツの観点から、児童生徒が、水に親しみ、水の中で自らの命を守ることにについて学ぶことによって、施策の達成の一助としました。
 - 未達成の点
 - 未達成の点はありません。
- ・ 課題
 - 体験活動等に際して、社会教育関係諸団体との協力を進めていくことが課題です。

2 「大和市子ども読書活動推進計画」に基づき、文字活字文化に親しむ態度を養います。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 小学校図書館用図書整備事業

・文部科学省が定める学校図書館図書標準に基づき、各学校の規模、充足率を考慮して、学校ごとに配当を行い、計画的に図書を購入しました。

< 決算額の内訳 >

・図書館用図書購入費 14,360千円

(2) 中学校図書館用図書整備事業

・文部科学省が定める学校図書館図書標準に基づき、各学校の規模、充足率を考慮して、学校ごとに配当を行い、計画的に図書を購入しました。

< 決算額の内訳 >

・図書館用図書購入費 5,361千円

(3) 小学校図書整理員事務

各小学校に 1 名の学校図書整理員を任用しました。

(4) 中学校図書整理員事務

各中学校に 1 名の学校図書整理員を任用しました。

教育委員会の自己点検・評価

・ 達成度

特に重点施策の推進になった点

図書整理員を配置し、兼任司書教諭を補助し、整理事務を行うことによって、学校図書館が利用しやすくなり、児童生徒・教職員の読書環境の向上を図ることができました。

毎年度、蔵書数を充実することにより、児童生徒に最新の情報を提供し、興味関心を引き出し、豊かな感性や情操を育む一助となっています。

未達成の点

一部の中学校で大幅な図書の入れ替えが行われたことで、蔵書の充足率が若干下回りました。

・ 課題

国が専任司書教諭の配置をするまでの間は、今後も図書整理員の果たす役割は重要であり、整理事務のスキルアップを目指して、図書の配置や表示等の研修を行うなどのほか、司書教諭との連携協力を推進します。

また、各学校の蔵書の充足率を把握した上で、図書の入れ替え方針を示すことが必要です。早い時期に新刊本の紹介を行い、蔵書の新鮮度を高めていくように努めます。また、蔵書数の増加だけでなく、児童生徒にとって魅力ある学校図書館の創造や読み聞かせボランティアのさらなる活用などを図っていきます。

充足率... 学校の規模や児童生徒数などから算出される、学校の蔵書が必要分満たされているかどうかの割合。

3 自分の願いや思いを話し、他の人の考えや願いを受けとめる仲間づくりの育成に努めます。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 人権教育推進事業

・教職員向けに、人権・同和教育に係る研修会を開催しました。

< 事業内容 >

- ・研修会開催回数 3回【4回】
- ・人権同和団体等が主催する人権に関する各種研修会に参加しました。
- ・人権・同和問題に関する各種資料を入手し、各学校へ配付しました。

< 事業内容 >

- ・学校への配布物（定期） 3団体 4種紙
- ・各学校の校内研修会等へ講師の派遣・幹旋を行いました。

< 決算額の内訳 >

- ・人権同和団体冊子購入費 237千円
- ・人権同和教育研修会参加旅費 57千円
- ・その他 11千円

(2) 小学校地域教育力活用推進事業（再掲）

・地域の声を生かしたよりよい学校運営を行うために、学校長に適切な助言を行う学校評議員を委嘱しました。

・各学校における地域教育力を活用した教育活動（知識や経験を有する人の指導協力やボランティアによる教育活動への参加者招致等）を支援しました。

・夏休みに小学生が自分で学びたい内容の教材を持参し、地域のボランティアが、その指導を行う「夏休み子どもまなびや事業」を6日間開催しました。

開催場所（コミセン） 20ヶ所【20ヶ所】

参加人数 939人【852人】

< 決算額の内訳 >

- ・地域教育力活用推進事業講師謝礼 760千円
- ・勤労生産学習講師謝礼 285千円
- ・学校評議員謝礼 210千円
- ・その他 148千円

(3) 中学校地域教育力活用推進事業（再掲）

・地域の声を生かしたよりよい学校運営を行うために、学校長に適切な助言を行う学校評議員を委嘱しました。

・各学校における地域教育力を活用した創意ある教育活動（知識や経験を有する人の指導協力やボランティアによる教育活動への参加者招致等）を支援しました。

< 決算額の内訳 >

- ・地域教育力活用推進事業講師謝礼 630千円
- ・学校評議員謝礼 90千円

教育委員会の自己点検・評価

- ・ 達成度

特に重点施策の推進になった点

教職員対象の各種研修会において、人権に関する研修を実施し、児童生徒向けに(社)横浜人権センターによる「人権移動教室」を学校で開催したりすることで、学校教育における人権意識の向上に努めています。

未達成の点

研修の実施自体で未達成の点はありません。

- ・ 課題

最近の社会情勢から、学校における人権教育はますます重要性を増してきています。研修会や勉強会などの多様化、充実に向け、研修会の講師選定において工夫するなどを行っていきます。

また、児童生徒に対しては、学校からのニーズに応じて、さまざまな立場等の方をゲストティーチャーとして活用できるようにします。



点検・評価の対象となる重点施策の一覧

- 1 活力ある学校づくりを推進するために、大学との連携を進めます。
- 2 二学期制を実施し、創意ある学校教育を展開します。
- 3 学校評価の充実を図ります。
- 4 保護者や地域の協力を得て、児童生徒の安全を守ります。
- 5 学校支援ボランティア人材バンクの整備・充実を図り、地域の教育力を活用します。
- 6 老朽化した学校施設を建て替え、教育環境を整備します。

1 活力ある学校づくりを推進するために、大学との連携を進めます。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 小学校地域教育力活用推進事業（再掲）

- ・地域の声を生かしたよりよい学校運営を行うために、学校長に適切な助言を行う学校評議員を委嘱しました。
- ・各学校における地域教育力を活用した教育活動（知識や経験を有する人の指導協力やボランティアによる教育活動への参加者招致等）を支援しました。
- ・夏休みに小学生が自分で学びたい内容の教材を持参し、地域のボランティアがその指導を行う「夏休み子どもまなびや事業」を6日間開催しました。

開催場所（コミセン） 20ヶ所【20ヶ所】

参加人数 939人【852人】

< 決算額の内訳 >

- ・地域教育力活用推進事業講師謝礼 760千円
- ・勤労生産学習講師謝礼 285千円
- ・学校評議員謝礼 210千円
- ・その他 148千円

(2) 中学校地域教育力活用推進事業（再掲）

- ・地域の声を生かしたよりよい学校運営を行うために、学校長に適切な助言を行う学校評議員を委嘱しました。
- ・各学校における地域教育力を活用した創意ある教育活動（知識や経験を有する人の指導協力やボランティアによる教育活動への参加者招致等）を支援しました。

< 決算額の内訳 >

- ・地域教育力活用推進事業講師謝礼 630千円
- ・学校評議員謝礼 90千円

(3) 学校事務研究協議会支援事業

- ・大和市学校事務研究協議会へ補助金を交付しました。

< 決算額の内訳 >

- ・学校事務研究協議会補助金 45千円

(4) 校長・教頭連絡協議会支援事業

- ・各連絡協議会に対して補助金を交付しました。

小学校校長学校運営連絡協議会 中学校校長学校運営連絡協議会
小学校教頭学校運営連絡協議会 中学校教頭学校運営連絡協議会

(5) 教育に関する調査研究・研修事業（再掲）

- ・研修講座を行いました。

研修講座 6講座17回 【16回】

- ・教育に関する調査研究を行いました。

調査研究部会 3部会31回 【36回】

- ・学校教材として副読本の発刊を行います。

小学校社会科副読本「やまと」 2,450冊 【2,500冊】

中学校社会科副読本「大和」 2,150冊 【2,200冊】

- ・教育資料・史料を収集・整理・保管し、閲覧及び貸し出しを行いました。

累積登録冊数 11,051冊 【10,899冊】

貸出実績 9冊

- ・特色ある教育活動や教育情報について広報しました。

まなびやまと 151,000部【75,500部】

ビジュアル版 大和の教育 75,500部【75,500部】

<決算額の内訳>

・副読本印刷製本費 4,859千円

・その他 4,042千円

教育委員会の自己点検・評価

- ・ 達成度

特に重点施策の推進になった点

大学との連携においては、玉川大学と関係を深め、20年度から学生の派遣ができるように進めることができました。

連携により、ボランティアとして学校にかかわることになった学生のボランティア保険の加入について、市民活動課と調整し、使用が認められるようになりました。

未達成の点

各学校において、独自の連携を行っていますが、教育委員会が推進していくことは、今後重要になってきますので、準備段階ですが、今後さらに推進していきます。

- ・ 課題

大学とは、関係を深めるだけでなく、今後の各々の役割を明確に位置付けるために、協定書を交わしていくことが課題です。

2 二学期制を実施し、創意ある学校教育を展開します。

3 学校評価の充実を図ります。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 学校訪問による学校別指導推進事業

- ・教科指導の専門事項に対する指導助言の充実を図るため、7人の教科指導員を任用しました。
- ・5月から7月の間に、全小中学校への計画訪問全回を実施し、授業研究を中心とした個別指導を行いました。
- ・また、計画訪問では、学校ごとに設定したテーマについての話し合いを行い、指導助言を行いました。
- ・6月から2月の間に、学校からの要請による要請訪問を56回実施し、授業実践、校内研究等に対する支援として指導助言を行いました。

< 決算額の内訳 >

- ・教科指導員報酬 140千円

(2) 小学校地域教育力活用推進事業（再掲）

- ・地域の声を生かしたよりよい学校運営を行うために、学校長に適切な助言を行う学校評議員を委嘱しました。
- ・各学校における地域教育力を活用した教育活動（知識や経験を有する人の指導協力やボランティアによる教育活動への参加者招致等）を支援しました。
- ・夏休みに小学生が自分で学びたい内容の教材を持参し、地域のボランティアがその指導を行う「夏休み子どもまなびや事業」を6日間開催しました。

開催場所（コミセン） 20ヶ所【20ヶ所】

参加人数 939人【852人】

< 決算額の内訳 >

- ・地域教育力活用推進事業講師謝礼 760千円
- ・勤労生産学習講師謝礼 285千円
- ・学校評議員謝礼 210千円
- ・その他 148千円

(3) 中学校地域教育力活用推進事業（再掲）

- ・地域の声を生かしたよりよい学校運営を行うために、学校長に適切な助言を行う学校評議員を委嘱しました。
- ・各学校における地域教育力を活用した創意ある教育活動（知識や経験を有する人の指導協力やボランティアによる教育活動への参加者招致等）を支援しました。

< 決算額の内訳 >

- ・地域教育力活用推進事業講師謝礼 630千円
- ・学校評議員謝礼 90千円

教育委員会の自己点検・評価

- ・ 達成度

特に重点施策の推進になった点

二学期制による「学びの連続性」などの効用を、最大限に生かすために、各学校を指導主事が訪問して必要な指導助言を行い、教員の資質の向上が図られました。

また、学校評価についても、学校評議員を活用し、内部評価を充実させました。

未達成の点

学校訪問自体については、未達成の点はありません。学校評価では、学校関係者評価（外部評価）の実施が全学校とはなりませんでした。

- ・ 課題

学校関係者評価は、創意ある学校教育の展開や効果的な実施を図るうえでも必要です。より多くの学校で、学校評議員会や学校保健委員会等による学校関係者評価（外部評価）が実施されるよう、さらなる学校評価の充実を推進することが課題です。

学校関係者評価（外部評価）... 保護者や地域住民など学校の関係者を含めて行う学校評価

4 保護者や地域の協力を得て、児童生徒の安全を守ります。

平成 19 年度の実績＜支えている事務事業＞

【】内前年度

(1) 通学区域設定・変更事務

児童生徒数推計や大型マンション建設計画などの情報を収集し、必要に応じて「学区検討会」を設置し、適正な通学区域を設定しました。

・通学指導員の配置（2校）

(2) 通学路指定・補修要望事務

各学校・PTAではその年の児童数に応じた登校班を編成し通学ルートを決定し、教育委員会は審査のうえ通学路を指定。さらに通学路の安全確保のため、交通管理者・道路管理者に交通安全対策を依頼しました。

(3) 児童生徒安全対策事業

- ・全小中学校の担当教諭を対象に、操作研修会を実施しました。
- ・各学校を通じて、保護者へ事業内容の説明及び登録案内を行いました。
- ・各学校を発信元として、学校ごとの連絡事項をメール配信で伝達します。

<メール配信件数>

- ・小学校 177件
- ・中学校 188件

<決算額の内訳>

- ・メール配信サービス委託料 1,705千円

(4) 児童生徒学籍管理事務

児童生徒の就学に関する多様な相談（転入・転出・障害児・外国籍・学区外就学・区域外就学等）に応じた学校指定変更手続きを関係学校長・指導主事と協議・調整し適正に処理しました。

教育委員会の自己点検・評価

・ 達成度

特に重点施策の推進になった点

通学路指定により安全な経路を学校に指導し、関係各課と連携しながらメール配信システムの活用により、不審者情報、犯罪情報、自然災害情報などを各学校や保護者に迅速に伝えることにより、児童生徒の通学の安全性が向上しました。

未達成の点

未達成の点はありません。

・ 課題

通学路の安全性の確保については、注意看板設置やカラー舗装などの短期的な対策は達成していますが、信号機設置や通学路の拡張・整備などの中・長期に渡る安全対策が課題です。

メール配信システムを、より多くの保護者が登録するように、より一層、学校や関係各署に働きかけを行います。また、地域の方々からの支援を有効活用し、子どもの安全が守られる仕組みのあり方を検討します。

5 学校支援ボランティア人材バンクの整備・充実を図り、地域の教育力を活用します。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 小学校地域教育力活用推進事業（再掲）

- ・地域の声を生かしたよりよい学校運営を行うために、学校長に適切な助言を行う学校評議員を委嘱しました。
- ・各学校における地域教育力を活用した教育活動（知識や経験を有する人の指導協力やボランティアによる教育活動への参加者招致等）を支援しました。
- ・夏休みに小学生が自分で学びたい内容の教材を持参し、地域のボランティアがその指導を行う「夏休み子どもまなびや事業」を6日間開催しました。

開催場所（コミセン） 20ヶ所【20ヶ所】

参加人数 939人【852人】

< 決算額の内訳 >

- ・地域教育力活用推進事業講師謝礼 760千円
- ・勤労生産学習講師謝礼 285千円
- ・学校評議員謝礼 210千円
- ・その他 148千円

(2) 中学校地域教育力活用推進事業（再掲）

- ・地域の声を生かしたよりよい学校運営を行うために、学校長に適切な助言を行う学校評議員を委嘱しました。
- ・各学校における地域教育力を活用した創意ある教育活動（知識や経験を有する人の指導協力やボランティアによる教育活動への参加者招致等）を支援しました。

< 決算額の内訳 >

- ・地域教育力活用推進事業講師謝礼 630千円
- ・学校評議員謝礼 90千円

教育委員会の自己点検・評価

・ 達成度

特に重点施策の推進になった点

地域教育力活用事業として、地域の人材を積極的に活用し、家庭・地域と一体となって開かれた学校づくりを推進しています。特に授業では、地域の方をゲストティーチャーとして招き、総合的な学習の時間や道徳の時間を中心に活用している他、特別活動でのクラブや部活動の指導等においても効果的に活用しています。

未達成の点

未達成の点はありません。

・ 課題

公教育における活用という視点を持ちつつ、学校のニーズを汲みとった「学校支援ボランティア人材バンク」システムを整備し、活用が広がるよう学校への働きかけをさらに進めていきます。

6 老朽化した学校施設を建て替え、教育環境を整備します。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 児童教育活動事業(学校配当)

・市立小学校の学校行事(入学式・卒業式・運動会など)に必要な物品や教材用消耗品整備のために必要な物品等の購入費を配当し、各学校の実情に即し、購入しました。

(2) 生徒教育活動事業(学校配当)

・市立中学校の学校行事に必要な物品や教材用消耗品等を購入しました。

(3) 小学校建設事業(年賦分)

以下の事業費につき、年賦払を行いました。

・渋谷小学校体育館・特別教室棟建設事業費 : 10年賦の6年目

・引地台小学校外壁・屋上等改修事業費 : 10年賦の2年目

< 決算額の内訳 >

・渋谷小学校体育館・特別教室棟建設事業費 65,206,172円

・引地台小学校外壁・屋上等改修事業費 7,394,287円

(4) 小学校校庭芝生化整備事業

南林間小学校芝生広場整備工事を施工しました。

< 事業内容 >

・芝生整備面積 : 300㎡

< 整備実績 >

・平成14～16年度 市立上和田小学校校庭

・平成17～18年度 市立深見小学校校庭

・平成19年度 市立南林間小学校芝生広場

< 決算額の内訳 >

・芝生化整備工事 5,000千円

(5) 営繕作業所管理運営事務

児童・生徒らの良好な教育環境を確保するため3班体制(北・中・南部)で施設の営繕作業を行いました。

(6) 小中学校庁務作業事務

学校内の環境保持等のため、次の業務に従事しました。

・校舎の戸締り及び門の開閉

・文書物品の送達、受領

・学校構内の清掃及びごみの処理

・来客用湯茶の準備

・施設、設備等の管理に必要な軽易な作業

(7) 小学校施設維持管理事業

・施設の保守点検、業務委託等の学校施設管理業務を行いました。

・施設の破損等に対応する学校施設維持補修事業を行いました。

(8) 小学校学校備品整備事業

学校管理用備品 ... 丁合機、ページセッター、電動断裁機、掃除用具庫等の購入及び取替えを行いました。

学校整備用備品 ... 電子複写機、教師用調理台、シューズボックス、体育館及び教室の緞帳・暗幕等の購入及び取替えを

行いました。

(9) 小学校大規模改修事業

市立小学校における老朽化した施設の整備・改善を行いました。

<事業内容>

- | | |
|------------------------------|---------------|
| ・トイレ改修工事
(安全・安心な学校づくり交付金) | 西鶴間小学校、緑野小学校 |
| ・受水槽取替工事 | 西鶴間小学校、文ヶ岡小学校 |
| ・プールろ過装置取替工事 | 下福田小学校、大和東小学校 |
| ・ガラス飛散防止フィルム設置工事 | 林間小学校、南林間小学校 |
| ・体育館屋根改修工事 | 北大和小学校 |
| ・教室改修工事 | 北大和小学校 |

<決算額の内訳>

- | | |
|----------|----------|
| ・トイレ改修工事 | 47,442千円 |
| ・受水槽取替工事 | 18,000千円 |
| ・その他工事 | 40,495千円 |

(10) 小学校防音設備整備事業

以下の各校の工事を行いました。

<事業内容>

- ・空調工事実施校 桜丘小学校 渋谷小学校

<決算額の内訳>

- | | |
|--------|-----------|
| ・空調工事 | 430,963千円 |
| ・監理等委託 | 8,358千円 |
| ・その他経費 | 3,443千円 |

(11) 小学校屋内運動場建替工事業

林間小学校の体育館建替工事に伴う設計業務を行いました。

<事業内容>

- ・林間小学校の体育館特別教室棟建替工事に伴う設計業務委託
- ・林間、大和、緑野、桜丘、深見、草柳小学校耐力度調査業務委託

<施設概要>

- ・構造：RC 地上3階建
- ・延べ床面積：1,994.76㎡
 - 1階：特別教室、多目的室ほか(1,044.57㎡)
 - 2階：体育館(922.35㎡)
 - 3階：放送室(27.84㎡)

<決算額の内訳>

- | | |
|---------|----------|
| ・設計業務委託 | 10,290千円 |
| ・その他経費 | 6,932千円 |

(12) 大野原小学校プレハブ教室設置事業

大野原小学校の児童増に対応するため、プレハブ棟を設置し、特別教室を移設しました。

<施設概要>

- ・構造：軽量鉄骨造・2階建
- ・延床面積：313.74㎡
- ・部屋：1階図書室、2階工作室

<建設スケジュール>

1 2月中旬～1月中旬 設計
1月下旬～2月上旬 申請
2月中旬～3月下旬 施工
3月末日 引渡し

<決算額の内訳>

・大野原小プレハブ教室設置工事 33,692千円

(13) 中学校建設事業(年賦分)

以下の事業費につき、年賦払を行いました。

- ・渋谷中学校新校舎建設事業費...10年賦の4年目
- ・渋谷中学校旧校舎解体事業費...10年賦の3年目

<決算額の内訳>

- ・渋谷中学校新校舎建設事業費 296,536,666円
- ・渋谷中学校旧校舎解体事業費 17,010,896円

(14) 中学校施設維持管理事業

- ・施設の保守点検、業務委託等の学校施設管理業務を行いました。
- ・施設の破損等に対応する学校施設維持補修事業を行いました。

(15) 中学校大規模改修事業

市立中学校における老朽化した施設の整備・改善を行いました。

<事業内容>

- ・トイレ改修工事 大和中学校
(安全・安心な学校づくり交付金)
- ・受水槽取替工事 大和中学校、上和田中学校
- ・外壁塗装・屋上防水・ガラスフィルム貼工事 下福田中学校

<決算額の内訳>

- ・トイレ改修工事 21,197千円
- ・受水槽取替工事 19,590千円
- ・外壁塗装・屋上防水・ガラスフィルム貼工事 120,846千円

(16) 中学校防音設備整備事業

以下の各校の工事を行いました。

<事業内容>

- ・光丘中学校建替併行防音工事(平成18、19年度継続)
併行防音対象面積 10,857㎡

<決算額の内訳>

- ・防音設備工事費 534,005千円
- ・監理業務委託 3,360千円
- ・その他 109千円

(17) 中学校屋内運動場建替事業

つきみ野中学校の体育館特別教室棟建替工事に伴う耐力度調査業務委託を行いました。

<事業内容>

- ・つきみ野中学校耐力度調査業務委託

<決算額の内訳>

- ・耐力度調査業務委託 1,365千円

(18) 光丘中学校建替事業

建替工事の3ヶ年計画の2年目を迎え、平成20年2月に校舎が完成しました。

<施設概要>

- ・延床面積 13,805㎡
- ・構造/規模 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)4階建
- ・主たる部屋 普通教室 支援教室 特別教室 視聴覚室 多目的室 等
- ・別棟 部室棟(2階建) 駐輪場

<建替スケジュール>

- ・平成18年10月:工事着手
- ・平成20年 4月:新設校舎開校 8月:校庭整備完了、竣工予定

<決算額内訳>

- ・光丘中学校建替工事 1,953,689千円
- ・監理業務委託 18,720千円
- ・その他経費 110,990千円(備品,消耗品,引越し運搬費等)

(19) 中学校学校備品整備事業

学校管理用備品 ... 丁合機、ページセッター、電動断裁機、アジャストテント等の購入及び取替を行いました。

学校整備用備品 ... 電子複写機、シューズボックス、体育館及び教室の緞帳・暗幕等の購入及び取替えを行いました。

(20) 小学校管理事務(学校配当)

- ・学校運営上の維持・管理的部分にかかる経常的経費を各学校に配当し、必要な物品等を購入しました。

(21) 中学校管理事務(学校配当)

- ・学校運営上の維持・管理に必要な経常的経費を各学校に配当し、物品等を購入しました。

(22) 小学校管理用物品購入配布事務

- ・市立小学校の管理運営に必要な物品(出席経常的簿、卒業証書など)を購入し、各校に配布しました。

(23) 中学校管理用物品購入配布事務

- ・市立中学校の管理運営に必要な物品(出席簿、卒業証書など)を購入し、各校に配布しました。

(24) 学級編成事務

- ・市立小中学校28校及び学校給食共同調理場3場に4月5日付で配置する県費負担教職員定数を、児童生徒数推計を基に各学校の学級数・規模・特色(特別支援学級・国際学級・派遣等)を加えて算定しました。

(25) 給食用消耗品購入事務(学校配当)

各小・中学校において消耗品購入をしました。

(26) 給食共同調理場施設維持管理事務

- ・3調理場の施設修繕を実施します。
- ・3調理場の各種給食設備の保守点検等を実施しました。

(27) 単独調理校施設維持管理事務

単独調理校の各種給食設備の保守点検等を実施しました。

- ・グリストラップ清掃及び産業廃棄物処理処分委託
- ・ダムウェイター保守点検委託
- ・換気設備保守点検委託 等

(28) 受入校施設維持管理事務

受入校における給食施設の整備、調理機器の維持補修等を行いました。

- ・施設、設備補修
- ・エレベーター保守点検委託
- ・シャッター保守点検委託

(29) 学校給食設備整備事業

調理場及び学校の給食設備のうち、耐用年数を超過した機器類の買い替え等を実施しました。

< 整備実績 >

- ・北部調理場 : スチームコンベクションオープン 1台(増設)
- ・大和小学校 : ガス回転釜 5台(買替)
- ・草柳小学校 : ガス回転釜 3台(買替)
- ・林間小学校 : 回転釜 1台(買替)

< 決算額の内訳 >

- ・調理機器等備品購入費 12,249千円
- ・調理機器導入に伴う工事請負費等 1,525千円
- ・その他、機器に付随する消耗品等 734千円

(30) 学校給食施設大規模改修事業

老朽化が進んだ施設や設備の改修を実施しました。

< 改修実績 >

南林間小学校給食用エレベーター(設置後33年経過)

< 決算額の内訳 >

- ・南林間小学校給食用エレベーター改修工事 5,685千円

(31) 北大和小学校給食室改修事業(年賦分)

以下の事業費につき、年賦払を行いました。

- ・北大和小学校給食室改修事業費...10年賦の2年目

< 決算額の内訳 >

- ・北大和小学校給食室改修事業費 7,008,187円

(32) 健康管理協力団体支援事業

大和市医師会及び大和市学校保健会からの補助金交付申請書・実績報告書が提出され、昨年度の事業活動状況及び事業予定の報告を受けた後、申請書等の内容の審査後、補助金の交付決定をしました。

< 決算額の内訳 >

- ・大和市医師会学校医部会に対する補助金 : 60,000円
- ・大和市学校保健会に対する補助金 : 270,000円

(33) 学校薬剤師検査室運営事業

学校薬剤師により、プール、室内環境、照度、飲料水、給食施設の検査を実施しました。

< 実績の内訳 >

- ・学校薬剤師による学校環境衛生検査の実施
 - 室内環境検査(照度・湿度・一酸化炭素等):年2回
 - 給食施設等検査 :年3回

< 決算額の内訳 >

- 学校薬剤師検査室の光熱水費... 86千円
- その他 ...234千円

(34) 小学校環境検査事務

小学校19校の飲料水を毎月、プール水の水質と教室の空気環境を年1回、学校薬剤師及び委託業者で検査を実施しました。

<実績の内訳>

- ・水質検査 : 各校月1回実施 【月1回】
- ・プール水水質検査 : 全小学校年1回実施【年1回】
- ・教室の空気環境検査 : 全小学校年1回実施【年1回】

<決算額の内訳>

飲料水水質検査手数料 1,851千円
その他 929千円

(35) 中学校環境検査事務

中学校9校の飲料水を毎月、プール水の水質と教室の空気環境を年1回、学校薬剤師及び委託業者で検査を実施しました。

<実績の内訳>

- ・水質検査 : 各校月1回実施 【月1回】
- ・プール水の水質検査 : プール設置中学校4校実施 【年1回4校】
- ・教室の空気の環境検査 : 全中学校年1回実施 【年1回】

<決算額の内訳>

飲料水検査手数料 877千円
その他 353千円

(36) 学校医等公務災害補償事務

学校医等の公務上の災害は、ありませんでした。

<決算額の内訳>

19年度 0円 【0円】

教育委員会の自己点検・評価

・ 達成度

特に重点施策の推進になった点

老朽化した学校施設、給食施設の建替や補修、耐震化の推進、耐用年数を超過した調理機器類の買替え、施設の保守管理を計画的に実施し、教育環境の整備を図り、よりよい環境づくりを行いました。

事務費や維持補修費等の予算を各学校に配分することにより、各学校の実情に応じた教育環境整備の一助となりました。

未達成の点

未達成の点はありません。

・ 課題

老朽化が進んでいる学校施設については、計画的な大規模修繕及び維持補修を今後も行っていきます。また、現在進めている体育館の耐震化については、教室数不足解消なども併せた建て替えを行っていきます。学校給食施設については、旧来のウエット施設でのドライ運用であるため、ドライ化された施設にすることが課題です。

予算の各学校への配分は、学校規模を基本に配当していますが、規模だけではなく、施設の状況等各学校の実情をより加味しつつ、精査を行い、配当できるように検討を進めます。

基本目標 5

豊かな人間性と高い専門性をもつ教職員



点検・評価の対象となる重点施策の一覧

- 1 教職員の人権感覚をみがきます。
- 2 教職員の資質向上を図り、専門性を高める研修を充実させます。
- 3 栄養教諭の育成を推進します。
- 4 教育課程研究協議会の成果を小中学校へ広めます。
- 5 総括教諭を配置し、教員の人材育成を図ります。

1 教職員の人権感覚をみがきます。

2 教職員の資質向上を図り、専門性を高める研修を充実させます。

3 栄養教諭の育成を推進します。

平成 19 年度 の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 人権教育推進事業 (再掲)

- ・教職員向けに、人権・同和教育に係る研修会を開催しました。

< 事業内容 >

- ・研修会開催回数 3 回【4 回】
- ・人権同和団体等が主催する人権に関する各種研修会に参加しました。
- ・人権・同和問題に関する各種資料を入手し、各学校へ配付しました。

< 事業内容 >

- ・学校への配布物(定期) 3 団体 4 種紙
- ・各学校の校内研修会等へ講師の派遣・斡旋を行いました。

< 決算額の内訳 >

- ・人権同和団体冊子購入費 2 3 7 千円
- ・人権同和教育研修会参加旅費 5 7 千円
- ・その他 1 1 千円

(2) 教育に関する調査研究・研修事業 (再掲)

- ・研修講座を行いました。

研修講座 6 講座 1 7 回 【1 6 回】

- ・教育に関する調査研究を行いました。

調査研究部会 3 部会 3 1 回 【3 6 回】

- ・学校教材として副読本の発刊を行います。

小学校社会科副読本「やまと」 2, 4 5 0 冊 【2, 5 0 0 冊】

中学校社会科副読本「大和」 2, 1 5 0 冊 【2, 2 0 0 冊】

- ・教育資料・史料を収集・整理・保管し、閲覧及び貸し出しを行いました。

累積登録冊数 1 1, 0 5 1 冊 【1 0, 8 9 9 冊】

貸出実績	9冊
・特色ある教育活動や教育情報について広報しました。	
まなびやまと	151,000部【75,500部】
ビジュアル版 大和の教育	75,500部【75,500部】
< 決算額の内訳 >	
・副読本印刷製本費	4,859千円
・その他	4,042千円
(3) 教職員研修実施事業	
・新採用から校長に至までの各職責段階別、教育課題別など、必要に応じた研修会を開催しました。	
・学校独自で行う研修会への支援を行うとともに、他機関が主催する研修会への参加費を助成しました。	
< 決算額の内訳 >	
・教職員研修会参加負担金	734千円
・各種研修会講師謝礼	236千円
・学校別児童生徒指導研修会講師謝礼	365千円
・その他	36千円
(4) 教職員公務災害補償事務	
市立小中学校教職員が公務災害・通勤災害・労働災害に被災した場合に、認定請求等の事務を適正・迅速に処理しました。	
(5) 教職員互助会支援事業	
市立学校教職員互助会に補助金を交付しました。	

教育委員会の自己点検・評価

達成度

特に重点施策の推進になった点

職責や教育課題別など、必要に応じた研修会を開催し、教職員が直面する各種の教育課題に関して必要な専門知識や技能の習得を促進しました。児童生徒理解や人間関係づくりに関する研修、教科研修、今日的な教育課題に関する研修等では、受講者の99%がアンケートで「役に立った」と回答しています。

未達成の点

未達成の点はありません。

課題

「小学校外国語活動」の導入に向け、平成20年度から調査研究部会を立ち上げてカリキュラムと指導案づくりに取り組むとともに、教職員の指導力向上をめざした実践的な研修のあり方を検討していきます。

教職員の専門性を高めるだけでなく、豊かな人間性や教養を培うための研修を取り入れていくことが課題です。

4 教育課程研究協議会の成果を小中学校へ広めます。

5 総括教諭を配置し、教員の人材育成を図ります。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 教職員人事事務

日常の業務として、情報の収集・伝達・交換を通して、転任・配置換・採用・昇任等の人事異動を合理的・効率的に実施しました。

(2) 教職員研修実施事業（再掲）

- ・新採用から校長に至までの各職責段階別、教育課題別など、必要に応じた研修会を開催しました。
- ・学校独自で行う研修会への支援を行うとともに、他機関が主催する研修会への参加費を助成しました。

< 決算額の内訳 >

・教職員研修会参加負担金	7 3 4 千円
・各種研修会講師謝礼	2 3 6 千円
・学校別児童生徒指導研修会講師謝礼	3 6 5 千円
・その他	3 6 千円

教育委員会の自己点検・評価

- ・ 達成度
特に重点施策の推進になった点
各学校の校内研究組織（教育研究会等）に各種の教育研究の委託を行った結果、教職員の指導力向上につながり、教育水準向上の一助となりました。
未達成の点
未達成の点はありません。
- ・ 課 題
今後も教育課程研究協議会において、今日的な教育課題解決のために部会を設置し、研究を行っていきます。
また、教育課程研究協議会では、「授業研究研修会」において、公開授業や研究協議を行い、いじめ対応に関するリーフレットを発行して、研究内容の周知を行っていますが、研究成果を各学校や保護者など市内に発信するためのより効果的な方法を工夫していきます。
総括教諭については、グループリーダーとしての役割が十分に機能するよう、必要に応じて各学校に働きかけていきます。



点検・評価の対象となる重点施策の一覧

- 1 食育を家庭と共に推進します。
- 2 積極的に情報提供を行います。
- 3 子どもの体と心についての講座や教育講演会を充実させ、家庭と共に子ども理解を深めます。
- 4 社会教育関係諸団体と協力して保護者の学びの場をつくります。

1 食育を家庭と共に推進します。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 北部学校給食共同調理場運営事業

・給食調理業務等の委託、備品購入、施設管理に伴う光熱水費等の運営管理を行いました。

対象校：緑野小、大野原小、中央林間小、大和中、つきみ野中、鶴間中学校

平成 19 年度予定食数：4,553 食

(2) 中部学校給食共同調理場運営事業

・給食調理業務等の委託、備品購入、施設管理に伴う光熱水費等の運営管理を行いました。

対象校：柳橋小、大和東小、南林間小、引地台小、光丘中、南林間中学校

平成 19 年度食数：3,922 食

(3) 南部学校給食共同調理場運営事業

給食調理業務等の委託、備品購入、施設管理に伴う光熱水費等の運営管理を行いました。

対象校：8 校 児童生徒数：3,956 人

(4) 単独調理校運営事業

給食調理業務等の運営（6 校）・委託（2 校）、備品購入、施設管理に伴う光熱水費等の管理・推進を図りました。

対象校：北大和小、林間小、大和小、草柳小、深見小、桜丘小、渋谷小、西鶴間小学校

対象校：8 校 児童生徒数：5,732 人

(5) 学校給食管理運営事業

安全で良質な学校給食を提供するための衛生管理の徹底を行いました。

・学校給食協働調理場運営協議会の開催

・職員の細菌検査（7 人 × 24 回）

・食品細菌検査（5 検体 × 2 回）等

(6) 受入校運営事業

給食備品の保守点検委託、給食備品購入を行いました。

対象校：20 校 児童生徒数：11,792 人

(7) 給食費管理事務

毎月保護者からの納入のあった給食費を管理し、給食費未納世帯に対しては、訪問・電話・文書等により督促を行い、また、生活保護受給者の未納に対しては、生活援護課へも協力を依頼し、未納の解消に努めました。

教育委員会の自己点検・評価

- ・ 達成度

特に重点施策の推進になった点

学校における食育の推進を図るため、共同調理場や単独調理校において、食材の選定をはじめ、食品を厳選し、安全かつ安価なものを使用し、献立作成においては、栄養士が児童生徒の栄養量を確保し、多種多様な食品を取り入れた献立を作り、安全で栄養のバランスのとれた給食を提供しました。

また、「給食展」、「夏休み親子料理教室」、「学校給食講習会」を実施し、保護者や市民に、学校給食への親しみや理解を得るために給食についての情報提供を行いつつ、食育を推進しました。

未達成の点

給食費未納分の徴収については、未達成でした。

- ・ 課題

学校及び行政サイドだけでなく、家庭と連携した食育を推進する必要があります。そのため、食育をテーマとした講演会や研修会を充実し、学校における食指導についての指導支援を厚くすることが必要です。また、学校給食における食育の推進を図るために、食環境の整備として食器および食器具の改善を行います。

給食費の未納問題は重要な課題であり、学校との連携を密にし、対策の強化を図ります。

2 積極的に情報提供を行います。

3 子どもの体と心についての講座や教育講演会を充実させ、家庭と共に子ども理解を深めます。

4 社会教育関係諸団体と協力して保護者の学びの場をつくります。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 教育に関する調査研究・研修事業 (再掲)

・研修講座を行いました。

研修講座 6 講座 17 回 【16 回】

・教育に関する調査研究を行いました。

調査研究部会 3 部会 31 回 【36 回】

・学校教材として副読本の発刊を行います。

小学校社会科副読本「やまと」 2,450 冊 【2,500 冊】

中学校社会科副読本「大和」 2,150 冊 【2,200 冊】

・教育資料・史料を収集・整理・保管し、閲覧及び貸し出しを行いました。

累積登録冊数 11,051 冊 【10,899 冊】

貸出実績 9 冊

・特色ある教育活動や教育情報について広報しました。

まなびやまと 151,000 部 【75,500 部】

ビジュアル版 大和の教育 75,500 部 【75,500 部】

< 決算額の内訳 >

・副読本印刷製本費 4,859 千円

・その他 4,042 千円

(2) 教育ネットワーク運用管理事業 (再掲)

・教育ネットワーク保守を行いました。

・教育ネットワークの改修を行いました。

< 決算額の内訳 >

・保守委託料 18,207 千円

・ネットワーク改修 12,187 千円

教育委員会の自己点検・評価

- ・ 達成度

特に重点施策の推進になった点

教育委員会の広報誌「ビジュアル版 大和の教育」及び「学校教育だより まなびやまと」を市内全戸に配布し、本市の教育施策や学校における取り組みなどを市民に紹介しました。これにより、学校教育への理解を深めるとともに、学校・家庭・地域の連携・協力を進めることができました。

学校ホームページの更新頻度が低い状況にあったため、更新をやすくするシステムを導入し、研修等を通して学校へのサポートを行いました。

児童生徒理解のための研修講座や教育講演会を、教職員だけでなく市民にも公開して実施しました。子どもたちの心と体についての課題を教職員、保護者、市民で共有することができ、理解が深まりました。講座の講師を PTA 主催の研修会等に招いた学校もあり、より多くの保護者に研修内容が広がりました。

未達成の点

未達成の点はありません。

- ・ 課題

教育委員会広報誌は、市民にわかりやすい表現で作成することを心がけていきます。

学校ホームページの更新頻度は上がりましたが、引き続き、学校へのサポートを行っていきます。

学校と家庭が連携して課題の解決につなげていくことができるように、今後も適切なテーマや講師の選定に努めていきます。また、日時や会場など、教職員、保護者、市民が参加しやすい体制を整え、積極的に啓発を行っていきます。

基本目標 7 温かいつながりをはぐくむ地域社会

点検・評価の対象となる重点施策の一覧

- 1 大和市の総合計画と連動して子どもを大切にしまちづくりを進めます。
- 2 教育フォーラムを開催し、学校、家庭、地域を交流を図ります。

1 大和市の総合計画と連動して子どもを大切にしまちづくりを進めます。

2 教育フォーラムを開催し、学校、家庭、地域の交流を図ります。

平成 19 年度の取組み < 支えている事務事業 >

【】内前年度

(1) 教育委員会褒章事業

- ・教育功労者表彰については、11月3日に表彰式を開催し、表彰状と記念品を贈りました。
- ・小中学校の皆出席の児童・生徒に対し、記念品を贈りました。
- ・小中学校の卒業生全員に対し、卒業記念品を配布しました。

< 実績の内容 >

- ・功労表彰記念品 25名【38名】
- ・小学校皆出席記念品 60名【43名】
- ・中学校皆出席記念品 21名【23名】
- ・小学校卒業記念品 2,061名【2,066名】
- ・中学校卒業記念品 1,760名【1,735名】

< 決算額の内訳 >

- ・教育委員会表彰記念品等 599,265円
- ・皆出席記念品 144,112円
- ・卒業記念品 909,545円
- ・その他 66,595円

(2) 大和の教育刊行事業

- ・教育委員会各課の主な活動成果や指針を集約して一冊の本にまとめ、庁内及び関係機関に配布しました。(庁内印刷)

(3) 大和市立小・中学校創立記念行事支援事業

- ・該当校がありません。

(4) 大和市学校教育基本計画進行管理事業

- ・進行管理の基本方針に基づき、実施計画の進行状況を把握しました。
- ・子どもの教育をめぐる課題をテーマとした教育フォーラムを開催しました。

教育フォーラム開催 1回 【1回】

< 決算額の内訳 >

- ・教育フォーラム講師謝礼・派遣手数料 90千円
- ・その他 7千円

教育委員会の自己点検・評価

- ・ 達成度

特に重点施策の推進になった点

「大和の教育」を毎年刊行し、教育に関する最新の統計、施策等、総合的な情報提供を行うことにより、地域や市民の大和市の教育の理解を深めました。

19年度は、情報メディア社会における子どもの健やかな育ちをテーマとして、7月に教育フォーラムを開催し、教職員、保護者、学校評議員、市民、行政職員等が一堂に会して本市の子どもたちの教育について考え、意見交換をすることができました。当日は、155人の参加がありました。

未達成の点

未達成の点はありません。

- ・ 課題

大和の「ひとづくり」となるような、卒業記念品や皆出席の記念品の贈呈などの各事業についての工夫を行います。

また、児童生徒が大和市の他の記念行事等に積極的に参加できるように、その機会を増やしていくことも課題です。

特に、情報提供については、情報の掲載内容や提供方法など、より分かりやすく、効果的な方法を検討していきます。

教育フォーラムは4回目の開催となり、毎回、参加者からのアンケートでは好評を得ていますが、参加者が一部の教職員や保護者に限定されがちな状況もあります。今後、より広い層の参加をめざして、内容や形態を工夫していきます。